「投資信託取引残高報告書」を活用した声かけ&トーク

投資信託取引残高報告書のココに着目してみよう！

すでに投資信託取引があるお客様にアプローチする際、どんな情報を活用すればよいか――ここではその1つとして「投資信託取引残高報告書」を挙げる。

これはお客様に送付されるものだが、金融機関の担当者も端末等で同様の情報を見ることができる。記載項目は、取引明細（報告期間中の購入や解約、分配金の受取り等を記載）、残高明細（ファンドごとの基準価額等を記載）、分配金の状況（普通分配金や特別分配金の額、税金の内訳等を記載）、NISAの非課税枠の状況などだ。

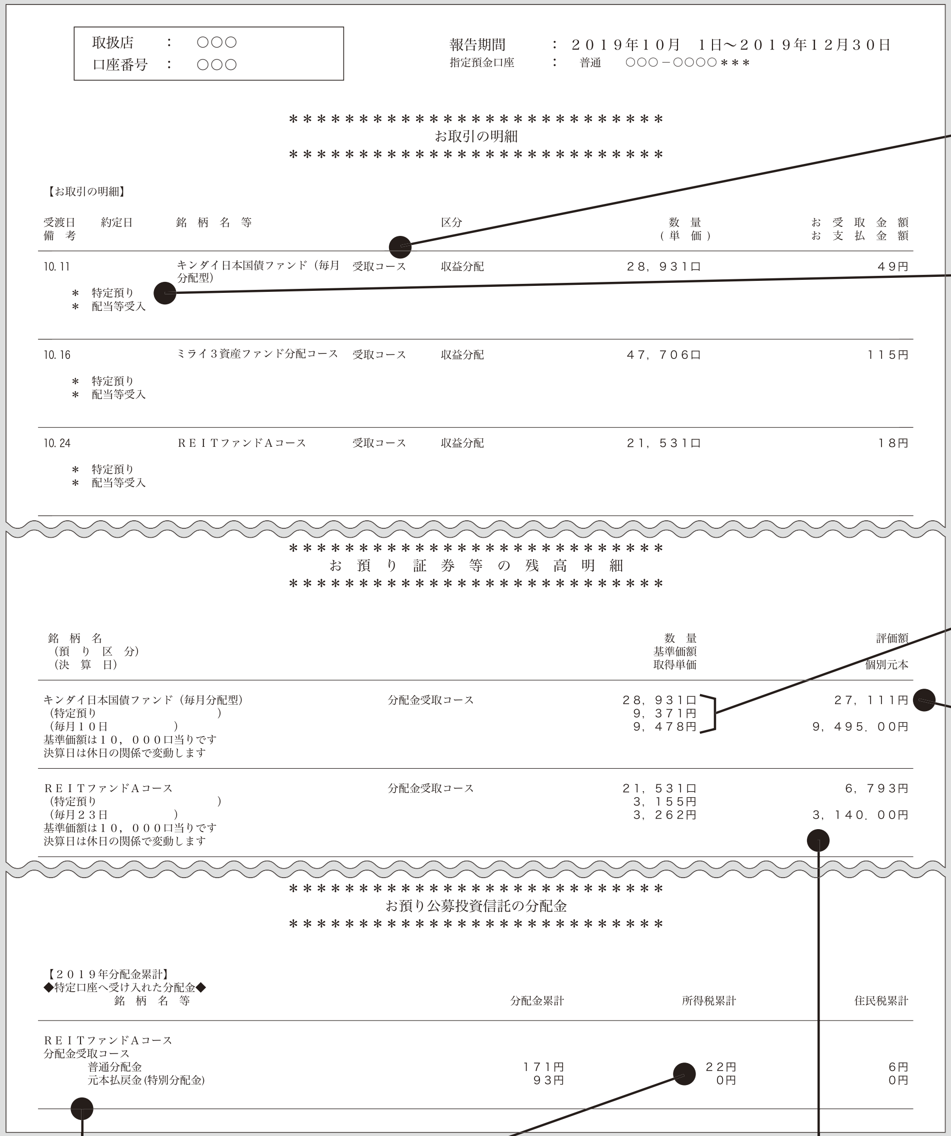
預かり口座の種類も記載

注目したいのは、やはり「基準価額と取得単価の差」であろう。基準価額が取得単価を上回っていれば含み益を、下回っていれば含み損を抱えていることになる。そこから声かけを行うことができるはずだ。

個別元本は、分配金が支払われたとき、税金算出の根拠となる。元本払戻金（特別分配金）が出ているようであれば、お客様は不満を抱いているといえるだろう。

また、投資信託を預けている口座の種類についても記載される。NISA口座を利用していなければ声かけを行い、取引のメイン化を図っていきたい。

お客様の最大の関心事はやはり運用益が出ているのか否かである。投資信託取引残高報告書を活用して運用状況を理解してもらうことで、追加購入のニーズなども顕在化してくるので、しっかり声かけを行おう。



取扱店 ： ○○○
口座番号 ： ○○○

報告期間 ： ２０１９年１０月 １日～２０１９年１２月３０日
指定預金口座 ： 普通 ○○○－○○○○＊＊＊

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊
お取引の明細
＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

【お取引の明細】

受渡日 備考	約定日	銘柄名等		区分	数量（単価）	お受取金額 お支払金額
10.11 ＊特定預り ＊配当等受入		キンダイ日本国債ファンド（毎月分配型）	受取コース	収益分配	２８，９３１口	４９円
10.16 ＊特定預り ＊配当等受入		ミライ３資産ファンド分配コース	受取コース	収益分配	４７，７０６口	１１５円
10.24 ＊特定預り ＊配当等受入		ＲＥＩＴファンドＡコース	受取コース	収益分配	２１，５３１口	１８円

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊
お預り証券等の残高明細
＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

銘柄名（預り区分）（決算日）		数量 基準価額 取得単価	評価額 個別元本
キンダイ日本国債ファンド（毎月分配型）（特定預り ）（毎月１０日 ）基準価額は１０，０００口当りです 決算日は休日の関係で変動します	分配金受取コース	２８，９３１口 ９，３７１円 ９，４７８円	２７，１１１円 ９，４９５．００円
ＲＥＩＴファンドＡコース（特定預り ）（毎月２３日 ）基準価額は１０，０００口当りです 決算日は休日の関係で変動します	分配金受取コース	２１，５３１口 ３，１５５円 ３，２６２円	６，７９３円 ３，１４０．００円

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊
お預り公募投資信託の分配金
＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

【２０１９年分配金累計】
◆特定口座へ受け入れた分配金◆

銘柄名等	分配金累計	所得税累計	住民税累計
ＲＥＩＴファンドＡコース 分配金受取コース			
普通分配金	１７１円	２２円	６円
元本払戻金(特別分配金)	９３円	０円	０円

●保有ファンド

▼投資対象に偏りがないか、偏っていることに不安がないか確認（P69へ）

●口座の種類

▼投資信託がどの口座に預けられているか確認。NISA口座の利用がないなら案内を（P76へ）

●基準価額

▼基準価額と取得単価を比較。現状の運用状況を踏まえて不満や不安がないか確認し、含み益の活用方法や、運用の見直しを案内（P70・71へ）

●課税状況

▼税金が取られることに不満がないか聞き、NISA口座等を案内（P68へ）

●個別元本

▼分配金の税金算出の根拠になる。特別分配金が出ていれば不満につながるので、引き下げる方法を案内（P73へ）

●分配金の種類

▼特別分配金が出ているなら不満を感じていることも。改善策を案内（P67へ）

●評価額

▼口数×基準価額÷購入単位（通常は１万口）で、解約したときの受取金額となる。成果を踏まえて不満がないか確認（P70へ）